

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	港区
学 校 名	大阪市立築港小学校
学校長名	河田 靖美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・築港小学校では、第6学年 24名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

本年度の結果、国語科については大阪市平均と比べると8%、全国平均と比べると9.6%下回っていた。学習指導要領の内容別で観ると「言葉の特徴や使い方に関する事項」は11%、「書くこと」は22.1%大阪市平均を下回っていた。他の内容については大阪市平均とほぼ同じであった。算数科については大阪市平均と比べると4%、全国平均と比べると5.2%下回っていた。学習指導要領の領域別で観ると「図形」で15%大阪市平均を下回っていた。「変化と関係」については3.8%上回っていた。

理科については大阪市平均と比べると3%、全国平均と比べると6.3%下回っていた。学習指導要領の区分・領域別で観ると「エネルギー」で7.6%大阪市平均を下回っていた。「粒子」については2.1%上回っていた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「我が国の言語文化に関する事項」は大阪市平均・全国平均より上回ることができた。我が国の言語文化を事例をあげ、主体的・対話的に学習を進めた結果だと言える。しかしながら、「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「書くこと」については大阪市平均より大きく下回り、本校の大きな課題だと言える。ノートやワークシートに思いや考えを書くことを継続していくなど、今後、授業の中で書く力を伸ばしていく必要がある。

〔算数〕「変化と関係」の領域については、大阪市平均より3.8%上回り、グラフから読み取れることを主体的・対話的に学習した成果だと言える。しかしながら、平均無解答率が大阪市平均より2.9%上回り、「図形」についての平均正答率は15%大きく下回る結果となった。図形の学習では、図形の意味や性質を基に辺の長さや角の大きさに着目し、図形の構成の仕方について考察できるようにする。これからも具体物を使って実際に測定したり、いろいろな方法で面積や体積を求めたりしながら、自分で考えた方法を説明することで理解を深める必要があると思われる。今後も個に応じた学習に取り組み、算数科の学力向上を図る必要がある。

〔理科〕「粒子」については大阪市平均を2.1%上回った。実験や観察に取り組み、結果や観察したことからわかったことを考察する学習に取り組んできた成果だと言える。しかしながら、「エネルギー」の領域で7.6%大阪市平均を下回る結果となった。引き続き、実験や観察を大切にした学習に取り組んでいく。

質問紙調査より

本校の児童は「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人が困っているときは進んで助けていますか」の項目に100%の児童が肯定的な回答を選んでいる。また、「朝食を毎日食べていますか」の項目では9割以上の児童が肯定的な回答をしている。規範意識が高まり、お互いのよさを認め合い、仲良く協力する意識が高まっていると言える。

しかしながら、「自分にはよいところがあると思いますか」の項目では「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」を選択する児童は29.2%いる。「学校の授業以外に普段、一日当たりどれぐらいの時間、勉強をしていますか」の項目では29.1%の児童が「全くしない」30分より少ないと含めると45.3%であった。自分に自信がもてない児童や家庭での学習の習慣が少ないことが伺える。

今後の取組(アクションプラン)

「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、子どもたちにとって分かる授業を構築し、確かな学力を身に付けることができる取り組みを進めていく。また、どんなことにもあきらめずに取り組み、根気強くやりぬく子どもたちを育てていく。子どもたちが心身共に健康な生活を送り、家庭や地域と連携し理解を得ながら進めていく。国語科においては、自分の力で書かれている内容を正しく読み取ったり、自分の考えを書いたりする取り組みを系統的かつ継続的に行う必要がある。算数科においては、新しい課題を解決するために既習の学習を活用する方法を考えたり、量や距離、時間等、具体的に測定することで算数的量感を養ったりする活動を大切にする。理科においては、実験・観察から科学的な思考が育つ授業を構築していく。これからも教員の授業力を高め、どの教科においても論理的に考える力、自分の考えを相手にわかりやすく伝える力を伸ばし、子どもたちが「わかった!」「楽しい!」といった実感を伴う授業を構築していく。

児童質問紙より

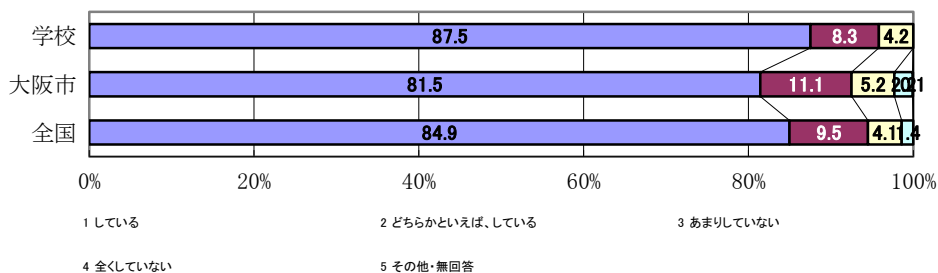
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

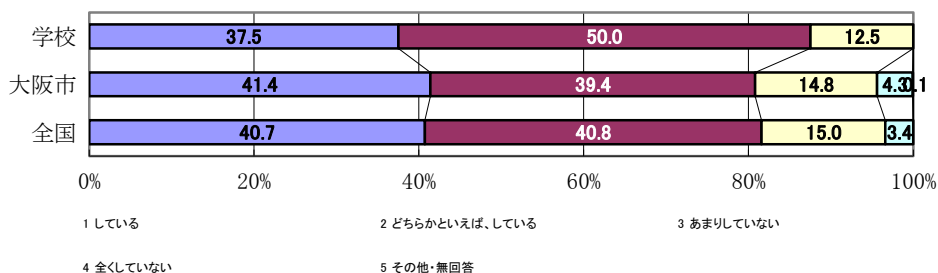
1

朝食を毎日食べていますか



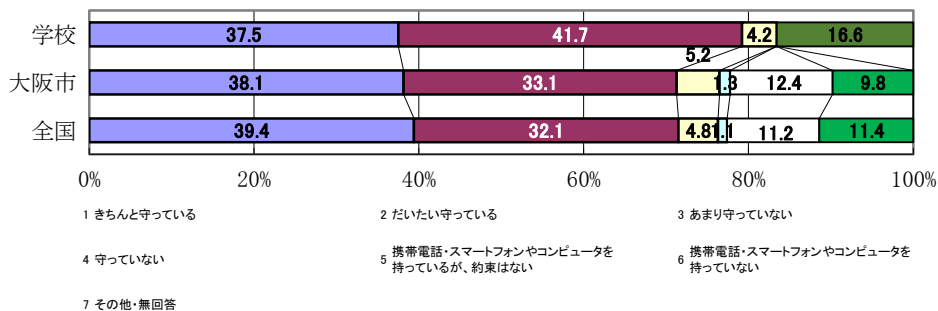
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



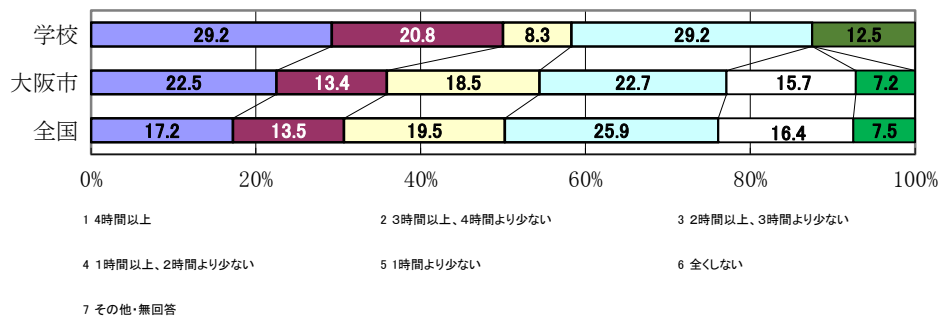
4

携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



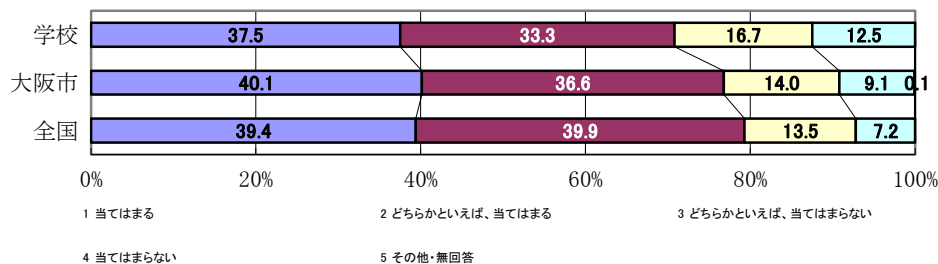
5

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



7

自分には、よいところがあると思いますか



児童質問紙より

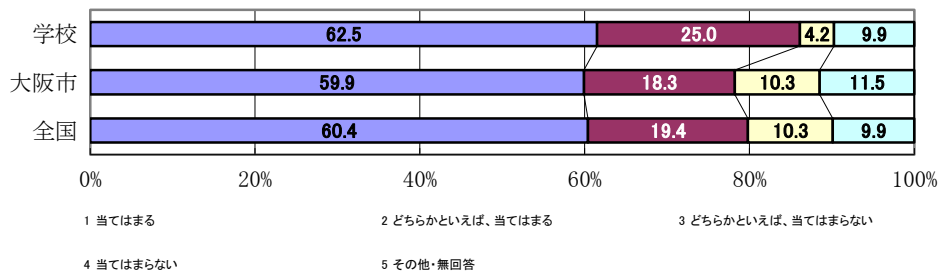
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

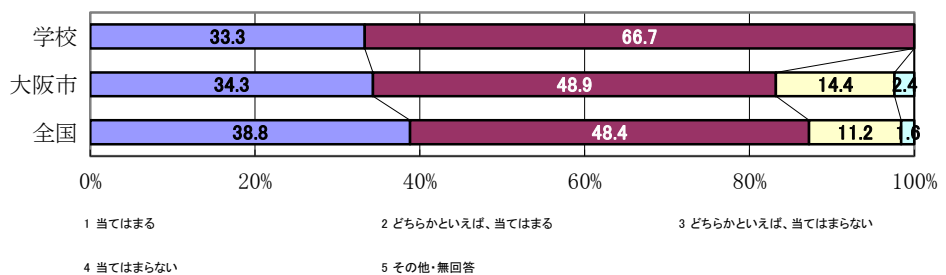
9

将来の夢や目標を持っていますか



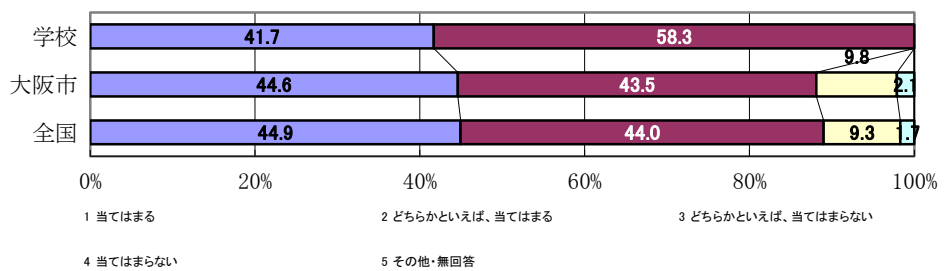
10

自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか



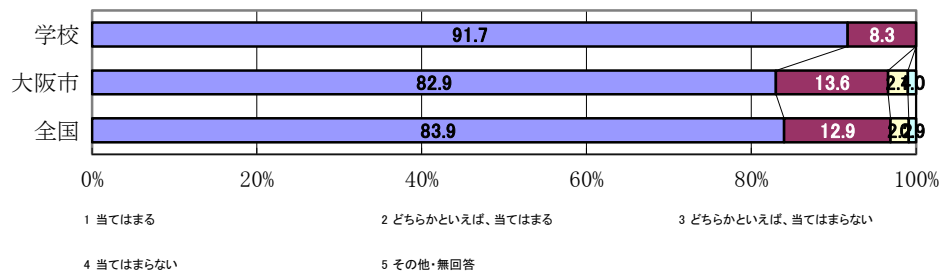
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



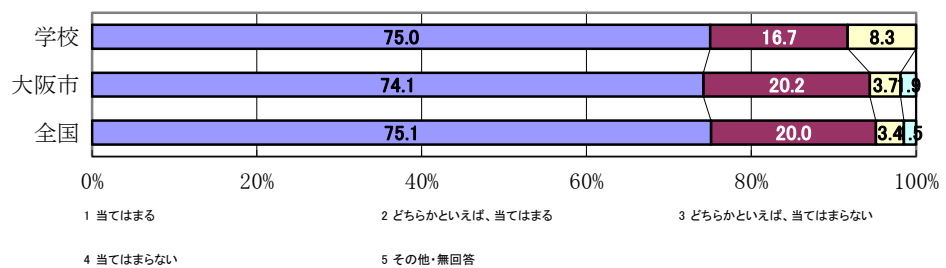
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



児童質問紙より

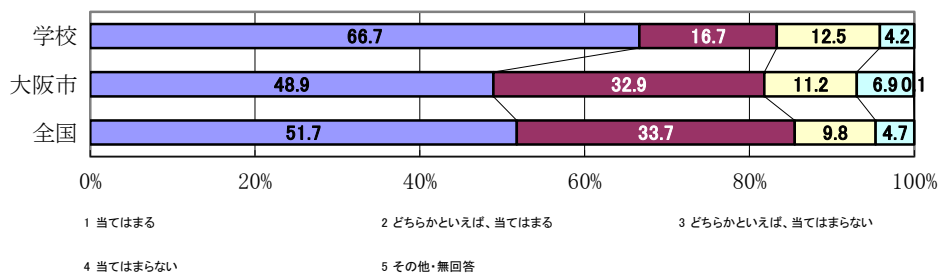
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

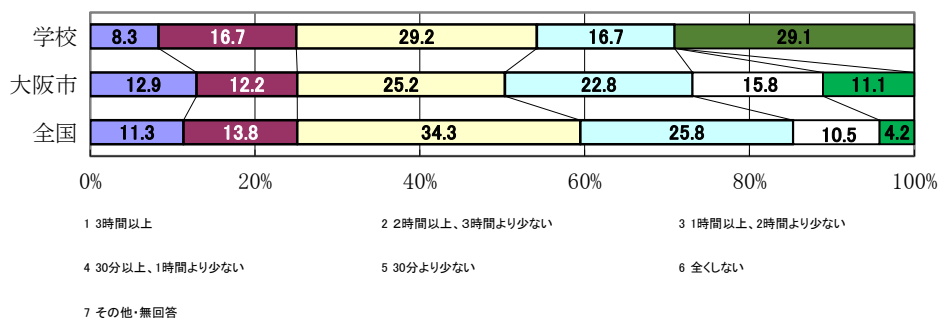
16

学校に行くのは楽しいと思いますか



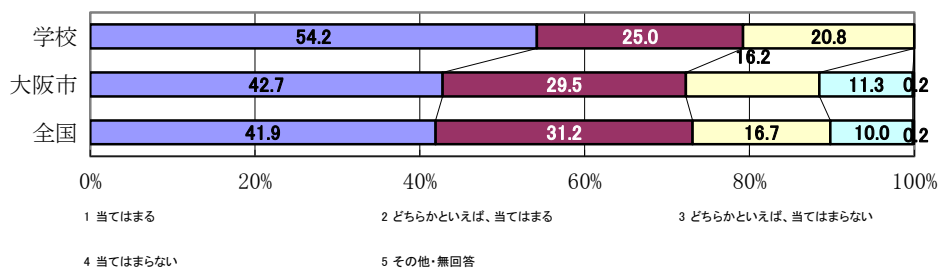
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



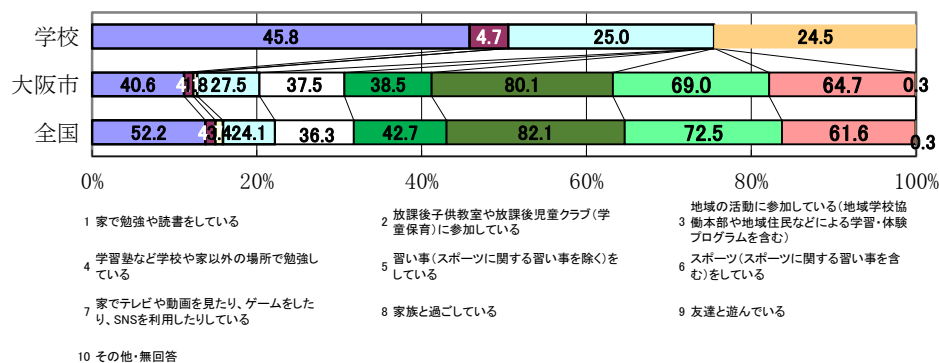
26

読書は好きですか



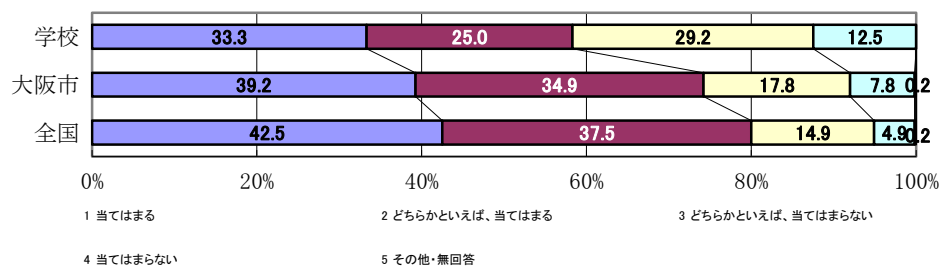
31

放課後や週末に何をしていますか（複数選択）



48

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



児童質問紙より

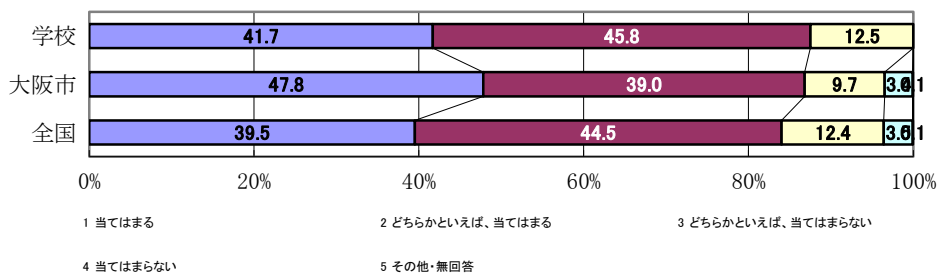
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

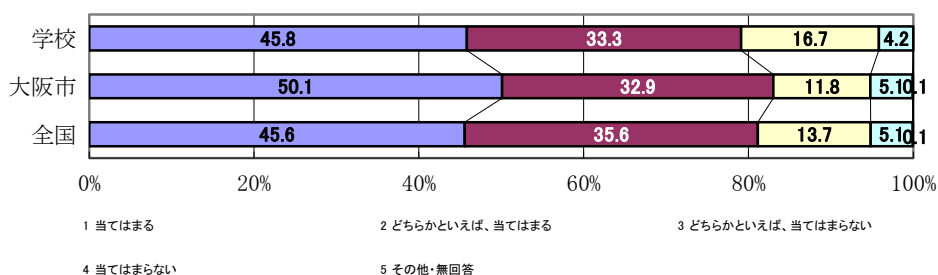
51

国語の授業の内容はよく分かりますか



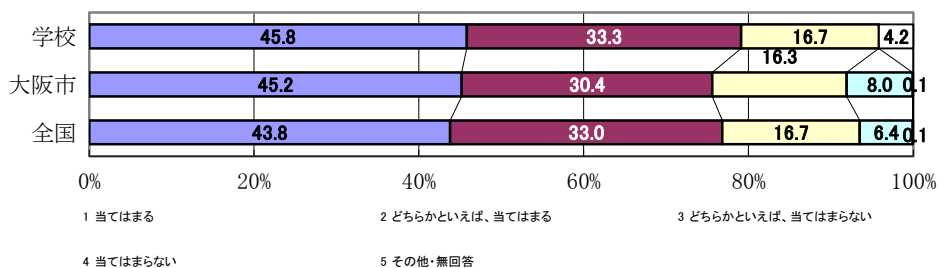
55

算数の授業の内容はよく分かりますか



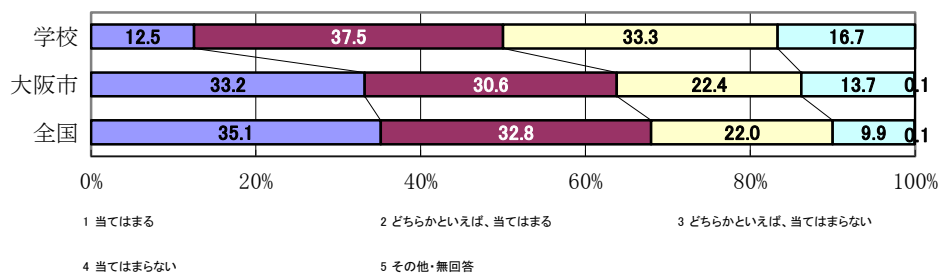
59

算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



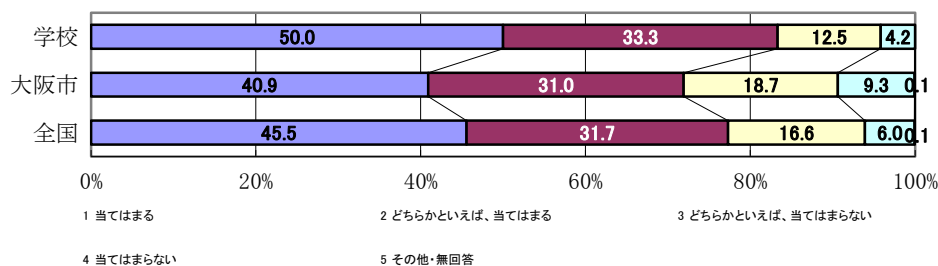
64

理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



65

理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



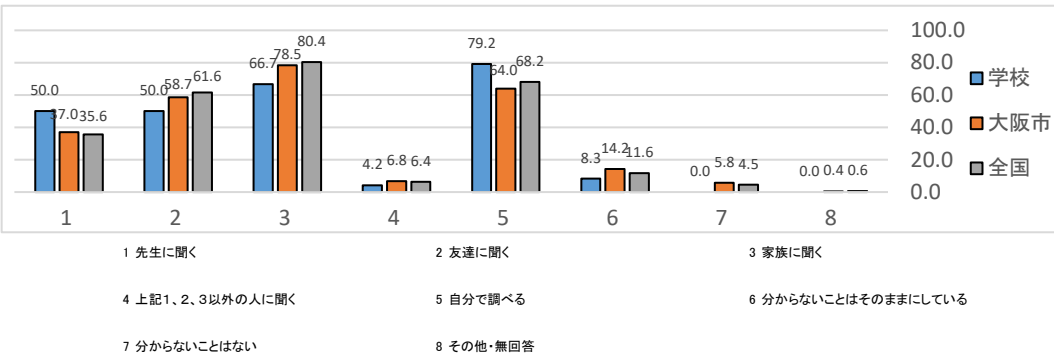
児童質問紙より

質問番号

質問事項

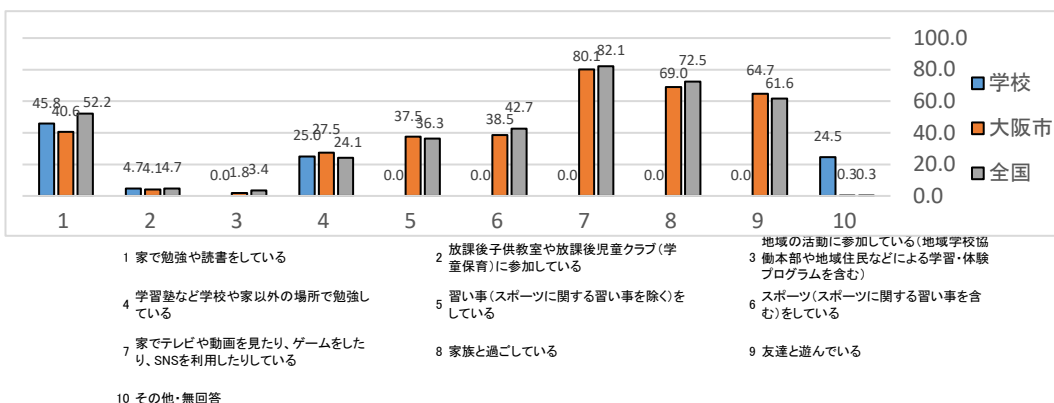
19

家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)



31

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

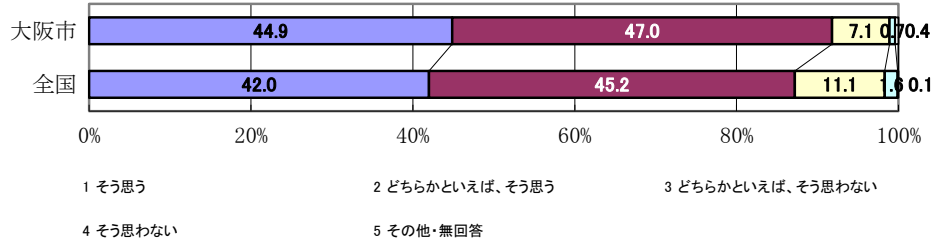
質問番号

質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

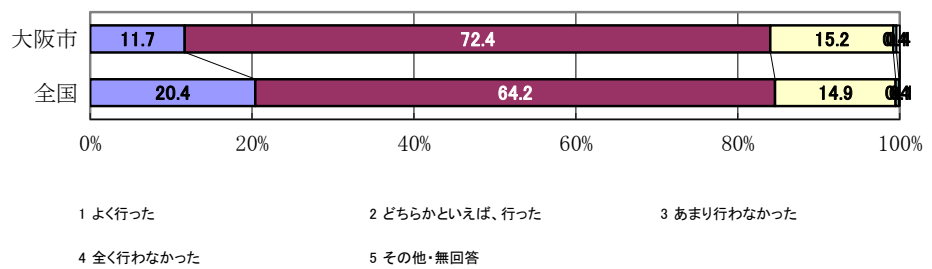
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

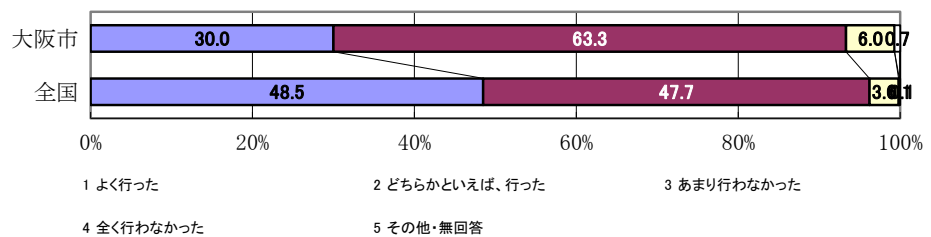
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

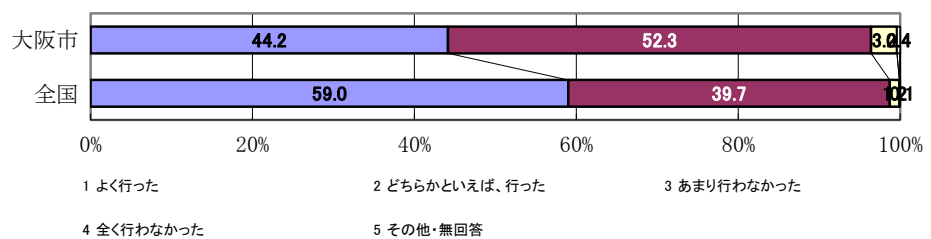
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



10

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

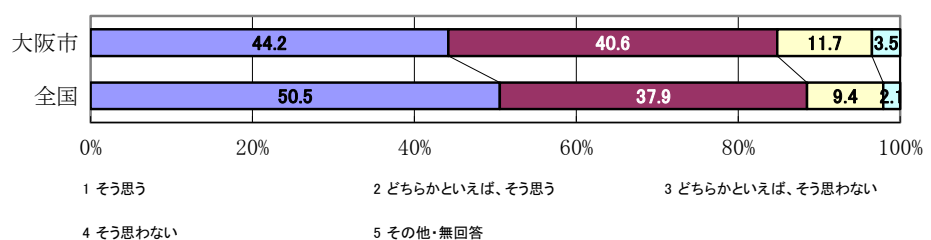
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



11

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

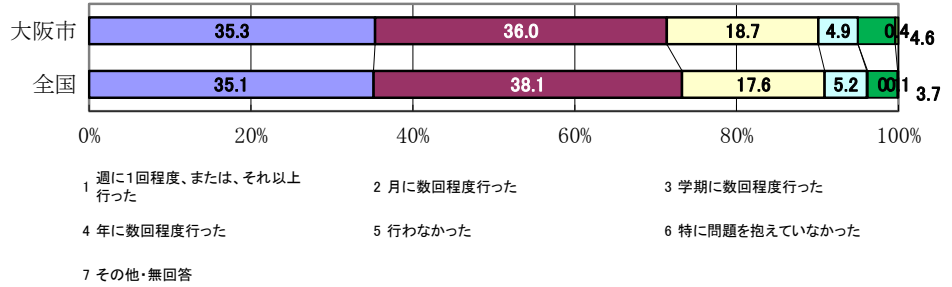
質問番号

質問事項

12

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

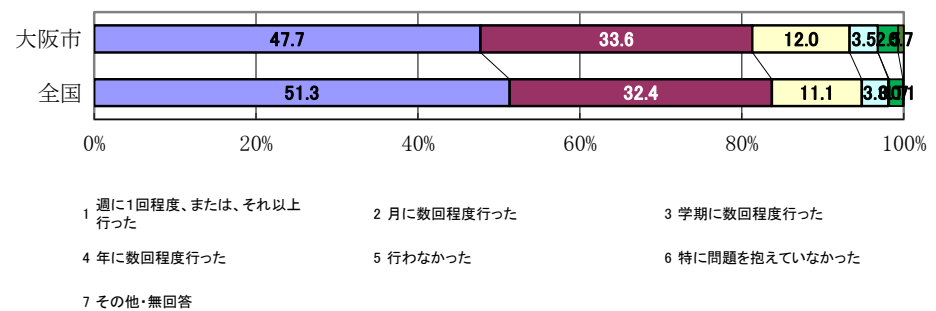
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



13

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

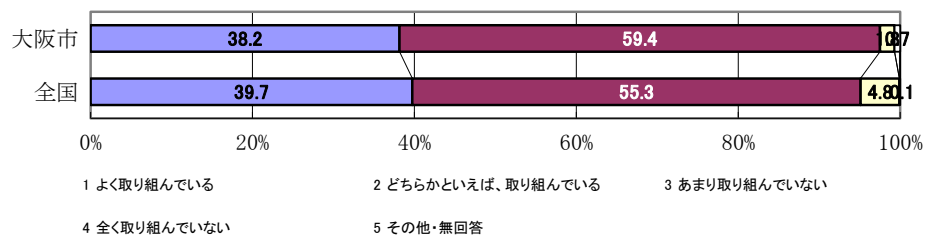
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



14

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)に取り組んでいますか

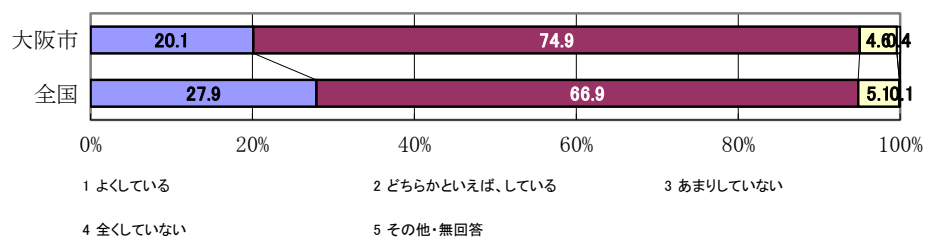
学校 「よく取り組んでいる」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

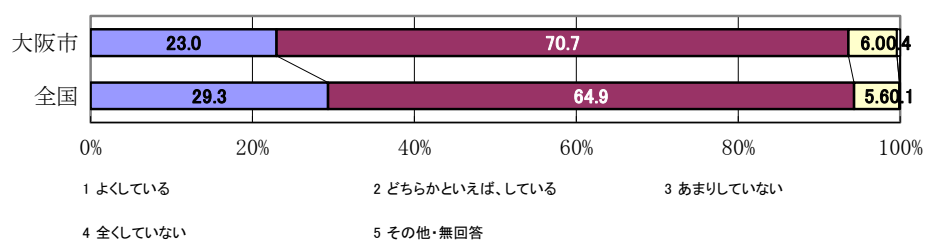
学校 「よくしている」を選択



17

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

学校 「よくしている」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

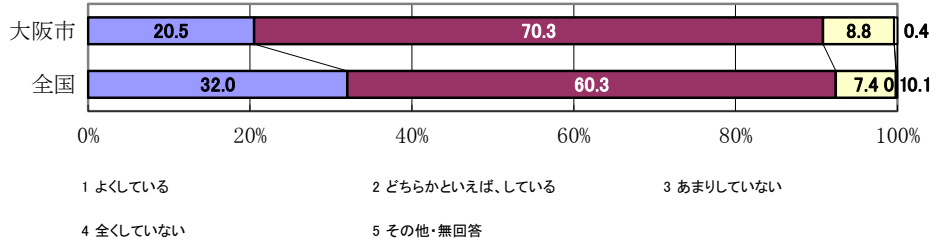
質問番号

質問事項

18

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

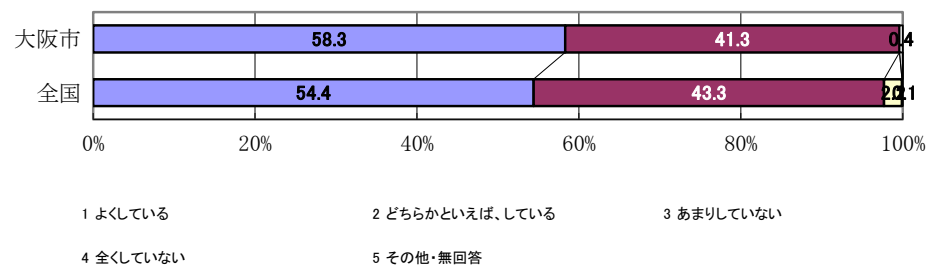
学校 「よくしている」を選択



19

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

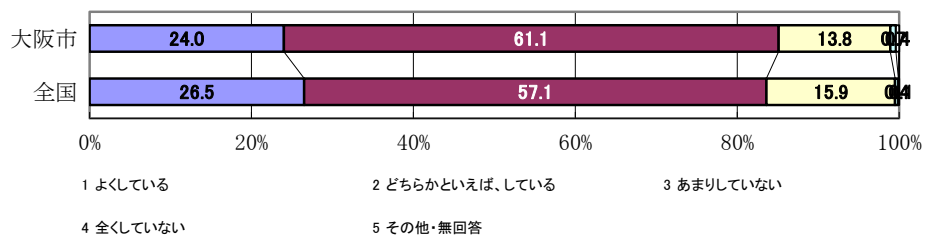
学校 「よくしている」を選択



20

児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか

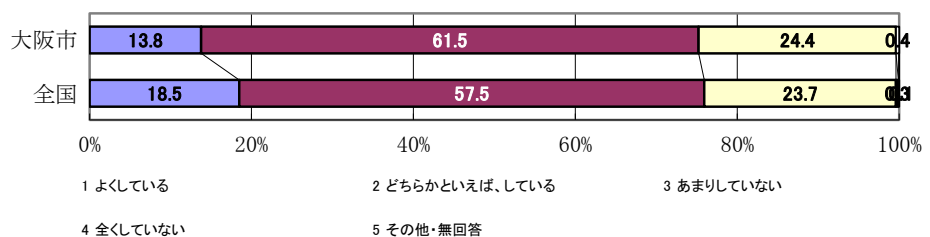
学校 「どちらかといえば、している」を選択



21

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

学校 「どちらかといえば、している」を選択



22

校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)

学校 「主として校内研修に関する業務を行う校務の担当教員」を選択

